

- 松本の魅力を引き出しつつ、交通や公共スペースの改善を通じて、市民や観光客など多くの人が快適に過ごせる環境を求める意見が出されました。

5つの指針	主な意見の概要
① “城下町松本”の歴史と自然を活かしたウォーカブルな空間を創出	・ 駅からお城までの歩行者軸の周りに、魅力的なパブリックスペースが必要 ・ ウォーカブルの推進には賛成。座れる場所をまちなかに散りばめていくことが大切
② “まちを舞台”にした魅力的なパブリックスペースをデザイン	・ まずは駅前。駅ビルを含め、松本の玄関口が寂しすぎる。松本らしさ、新しさが欲しい。 ・ 駅前については、行政とJRとアルピコが一体となって再開発を検討してほしい。
③ “安心・自由”に移動できるモビリティネットワークを実現	・ 松本の暮らしには車も大切。人と車の共存を検討するエリアとしてはどうか。 ・ 道路空間の再配分は、車の総量抑制や自転車利用、緑なども含めた検討が必要
④ “多様で高次な”都市施設を包摂する市街地を創造	・ 容積率などを考慮すると、建物の高さ制限を超える施設は限られるのではないか。 ・ まちづくりに寄与する投資については、高さ制限の一部緩和も含めた再考が必要
⑤ “公民学連携”による推進体制を構築	・ 土地の有効活用に、もっと市や商工会議所が関与して、まちづくりにつなげてほしい。 ・ 空地の一体利用には、官民の連携や市民の参画が重要で、そのための仕組みづくりが必要